

神情協働き方改革宣言

2018年4月1日

一般社団法人 神奈川県情報サービス産業協会

【神情協働働き方改革宣言】

～私たちは働き方改革で人にやさしい未来企業へ挑戦します。～

2018年、男子中学生、高校生の中で将来なりたい職業にITエンジニア・プログラマー、ゲームクリエイターが1位、2位となりました。女子中学生、高校生の間でもデザイナー、ゲームクリエイターがランクアップされています。

私たち神情協会員企業はこの期待に応えるべく以下の働き方改革の実行を宣言します。

施策名	施策内容
労働時間の短縮	時間外労働の月平均を20時間未満を目指します。
休暇取得の促進	年次有給休暇の取得率80%以上を目指します。
賃金の向上	所定労働時間短縮、特別休暇導入により実質賃金の向上を目指します。
働き方の多様化	テレワーク、副業の導入、等により働き方の多様化を目指します。
人材の有効活用	うつ病等、心の病で長期休暇を取る社員の比率半減を目指します。
人材の多様化	女性、外国人、シニア、障害のある社員が活躍できる企業環境作りを目指します。

～ 先端的技術の導入と創造的ビジネスの開拓により

ワークライフバランスとワークライフエンjoyに満ちた働き方を実現します。～

具体的な施策（効果的な施策の検討）

施策名	実施内容例
労働時間の短縮	定時退社日の徹底、強化 HDDのSDD化、デュアルモニター化等の導入による生産性向上策を導入する。
休暇取得の促進	会社指定有休日の設定、事前提出・承認による長期休暇の推奨。
賃金の向上	2020年までに会員企業の所定労働時間7時間30分未満を推奨する。
働き方の多様化	遠地通勤者や子育て、介護対応者等にテレワークを推奨する。 条件を満たした社員に対し、業務に影響のない範囲で副業の導入を推奨する。
人材の有効活用	賛助会員の人事労務関連企業及び、日本産業カウンセラー協会と協力し、心の病で長期休暇を取る社員の比率を半減する。
人材の多様化	会員企業の女性雇用比率、外国人雇用比率の情報収集と情報公開を行う。 外国人、シニア、障害者に対する採用面接会の開催情報紹介と参加を推奨する。 （神奈川県、横浜市、川崎市、等行政と協力し、会員企業に情報提供する。）